

議会だより



主な記事

- 第3回定例会 各会計補正予算可決ほか…………… P 2
- 新しい議会構成が決まる…………… P 6
- 「災害復旧対策」など5名の議員が町政を問う…………… P 8

第3回定例会開催される

第3回定例会が9月27日・28日の2日間開催され、専決処分承認、各会計補正予算、条例の改正、人事案件、議員発議の案件などが議決されました。平成22年度各会計歳入歳出決算認定と企業会計決算認定が上程され、決算特別委員会に付託されました。一般質問は5名の議員が町政について17項目にわたり質問しました。



一般会計補正予算

(第7号)を原案可決

普通交付税・臨時財政対策債の確定、個人町民税の課税客体確定、演習場周辺地区整備事業補助、地域支え合い体制づくり事業、環境保全型農業直接支援対策事業補助、集中豪雨等に伴う農林業施設災害復旧費など、5千597万円を減額補正し総額を66億4千902万6千円とする補正予算(第7号)を原案可決しました。

9月補正予算の状況

会計名	補正額	総予算額
一般会計	5,597万円	66億4,902万6千円
国民健康保険特別会計	277万1千円	14億836万7千円
介護保険特別会計	117万8千円	7億9,622万5千円
公共下水道事業特別会計	40万円	4億7,745万7千円

見晴台公園改修調査

設計業務委託費を追加補正

当初予算で改修工事が計上されていますが、国との国道用地の施工協議で町の利活用計画の具体化と、国と町の施工範囲の切り分けのため、調査設計費150万円が追加補正されました。調査設計においては、関係住民・団体に対するヒアリングや代表者による検討会議を設け、住民意見や町民団体の意向が反映されます。



当初予算で改修工事が計上されていますが、国との国道用地の施工協議で町の利活用計画の具体化と、国と町の施工範囲の切り分けのため、調査設計費150万円が追加補正されました。調査設計においては、関係住民・団体に対するヒアリングや代表者による検討会議を設け、住民意見や町民団体の意向が反映されます。

質「疑」から

観光客が増え、利活用が図れるかどうか疑問である。周辺住民が反対し、意見調整もなされておらず、どういった設計を考えているのか。

隣接する国道駐車帯を管理する国から町の考えが求められており、専門的分析を有する業者に委託し、各団体や地域住民との協議のうえ調査設計したい。

当初予算で調査設計の見直しはなかったのか。先の読みの甘さがあったのでは。

ご指摘のとおり、反省している。

地域住民などに十分丁寧な説明をして、考え方や利活用する団体の考え方をしっかりと受け止めて進めてもらいたい。

地域懇談会での意見を反映して、利活用しやすく、現在の魅力をそがないよう、成果を得ていきたい。

5・6月に国から要請があったのに、速やかに議論されていない。住民は再開発に不安を持っている。開発の在り方の原点に戻って、今回の補正を止めるべき。観光基本計画を含め、町全体の集客の在り方を検討すべき。

委託業務の結果を受けて、できるだけ早い時期に条件を整備したい。公園を活用して、地域経済の活性化に繋げることを戦略として整備したが、十分に発揮されていないので、その原因を解消して、所期の目的を十分果たせるための追加費用である。議論をして合意を得て一日でも早い着手に努めたい。

農業施設小規模基盤

整備を追加補正

大雨災害による農地災害の11地区36箇所に対する農業施設小規模基盤整備補助金750万円が追加補正されました。

徘徊高齢者等を守る

体制整備を構築

道から地域支え合い体制づくり事業費補助を受け、認知症高齢者等の徘徊に対応するため、捜索・発見・通報・保護や見守りのためのネットワーク構築経費437万7千円が追加補正されました。この事業により、関係機関との連絡体制の構築、地域で認知症高齢者等を支える体制づくり、徘徊する可能性のある住民の事前登録が計画されています。

環境保全の営農活動

農業者に直接支援

「化学肥料、化学合成農薬の5割低減の取組」と、「カバークロップの作付」又は「リビングマルチ又は草生栽培」又は「冬期灌水管理」のいずれか、若しくは「有機農業の取組」を行う農業者、集落営農（農業者グループ）に対し、交付金を交付する環境保全型農業直接支援対策事業補助455万円が追加補正されました。

消費動向・消費者ニーズ調査事業（緊急雇用創出）が中止

道補助を財源とした緊急雇用創出事業で当初予算に計上し、町商工会に業務委託されていた「消費動向・消費者ニーズ調査事業」について、補助の採択条件であるハローワークを通じた応募者がいないことから事業を中止とし、事業費666万5千円が減額補正されました。



「質」疑「から」

問

消費動向・消費者ニーズ調査事業を人員が見つからなかったことから中止し、減額されているが、今後、一切こういった調査を行わないのか。新たな予算化で調査を行うのか。

答

商工会事務局と活性化の協議の共通認識は持っている。

問

3月議会で商店街活性化の取り組みは今回の事業を含めてやると答弁されたが、それを中止して、今後の取り組みは、具体的にやっていかないと。スピード感がない。

答

前年度の空き店舗調査等の結果を踏まえ、消費動向等調査も含め、いろいろな計画を立て進めていきたかったが、受託先の商工会自体が調査人員の応募がなく、できないことから断念した。活性化に向けた取り組みを十分認識しており、様々な案を出しながら検討していきたい。

「質」疑「から」

問

徘徊高齢者等捜索ネットワークは、従前とどう変わるのか。登録で家族等の同意は。

答

現段階で、ご家族の同意を得、27名の方が登録されている。登録された方やご家族の協力を得て情報を共有し、居宅事業所・警察・消防などの関係機関と連携し、捜索本部を立ち上げて捜索するよう進めている。

介護保険特別会計補正予算

（第2号）を原案可決

平成22年度の介護給付費、地域支援事業等の精算、包括支援事業費の精算などに伴い、117万8千円を減額補正し、総額を7億9千622万5千円とする補正予算（第2号）を原案可決しました。

公共下水道事業特別会計補正

予算（第2号）を原案可決

公共下水道新設に伴う業務委託の増減で40万円を追加補正し、総額を4億7千745万7千円とする補正予算（第2号）を原案可決しました。

国民健康保険特別会計補正

予算（第2号）を原案可決

平成22年度療養給付費負担金・交付金の確定などに伴い、27万1千円を減額補正し、総額を14億836万7千円とする補正予算（第2号）を原案可決しました。

平成22年度各会計決算認定を

決算特別委員会に付託

「平成22年度上富良野町各会計歳入歳出決算認定の件」及び「平成22年度上富良野町企業会計決算認定の件」が上程されましたが、なお十分な審議を要するため、決算特別委員会に付託されました。

災害復旧費（9月2・3日の集中

豪雨）3億2千250万円を追加補正

9月2・3日の大雨（被害箇所221箇所）に伴う公共土木施設災害復旧事業（東4線広域道路災害復旧事業ほか3事業）の地方債の追加補正及び災害復旧費3億2千250万円を追加補正し、総額を67億499万6千円と

する『専決処分の承認を求める件（平成23年度上富良野町一般会計補正予算（第6号））の専決処分（9月3日付）』について承認可決しました。

被害状況の概要（9/13現在）

施設種別	箇所数	被害額
河川	49	9,790万円
道路	123	1億7,610万円
排水路	31	3,330万円
公共災害委託費		550万円
土木施設等合計	203	3億1,280万円
公共施設被害	4	720万円
農作物被害	258.9ha	8,808万円
農地被害 (流亡・土砂流入等)	50.5ha	1,800万円
農道被害	9,240m	772万円
農業関係合計		1億1,380万円
総合計		4億3,380万円

町道通行止め 9カ所
住宅床下浸水 17世帯（17棟）



トラシ江幌完別川（護岸損壊）

意見書を国に

提出しました

森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

「森林・林業再生プラン」に基づき、道産材の利用促進により、森林・林業の再生を図ることが重要との意見書です。

住民の安全・安心な暮らしを支える交通運輸行政の充実を求める意見書

住民の安全・安心な交通と運輸を確保するためには地方運輸局の充実こそ必要といえるとの意見書です。

国の雇用創出基金事業の継続・改善を求める意見書

国の雇用創出基金事業を平成24年も継続するとともに、制度の内容を一層失業者の就労に役立ち、自治体が運用しやすいように改善するよう求める意見書です。

原子力発電から自然エネルギーへ早期転換を求める意見書

自然エネルギーへの転換を計画的に行い明確にすること、エネルギー基本計画を根本的に見直し、原子力発電所の新增設は行わないことを求める意見書です。

災害対策本部条例の

一部改正条例を可決

災害対策基本法及び大規模地震対策特別措置法の一部を改正する法律の施行により、同法を引用する条文の一部改正条例を原案可決しました。(平成23年9月28日施行)

災害弔慰金の支給に関する

条例の一部改正条例を可決

災害弔慰金の給付対象となる遺族の範囲を拡大、災害弔慰金・災害障害見舞金の額、災害援護資金の限度額等の見直しなど、法律の改正に伴う一部改正条例を原案可決しました。(9月28日施行、遺族範囲拡大の条文は23年3月11日以後の災害から適用)

集会施設の設置及び管理に関する

「東日本大震災」の

支援活動に感謝する決議

里仁会館の屋内運動場の解体により条例の別表から当該名称を削除する一部改正条例を原案可決しました。

東日本大震災に派遣された自衛隊員・消防職員・町職員の活躍に深く感謝する上富良野町議会としての深甚なる謝意の決議です。

選挙管理委員及び

補充員選挙の件

選挙管理委員及び補充員は、地方自治法第182条により町議会で選挙すると規定されており、同法第118条の規定に基づき、議会の指名推選による選挙により、左記の方々が当選されました。
任期：平成23年11月1日～平成27年10月31日

問

町は献身的な努力で復興支援をした隊員に温泉券を無料交付し、従来にも増して敬意を表しているが、改めて、陸上自衛隊・隊員の復興支援に対して特別決議をする経緯は。

答

己を犠牲にして公のために復興支援で活躍された皆様、特に初動から活躍された陸上自衛隊上富良野駐屯地の全隊員の皆様が行ったことに対し、改めて感謝の意を表するとともに、本町が駐屯地とともに共存共栄で発展した町だからこそ、感謝と敬意を込めて本決議を行うものである。

人事案件



三熊 邦彦氏(再任)
昭和38年生
東7線北16号

任期満了に伴う教育委員会委員の任命の件について同意可決しました。

選挙管理委員

氏名	年齢	性別	住所
樋口 康信	68	男	富町1丁目
志賀 和江	62	女	西1線北24号
若佐 卓	62	男	錦町2丁目
高橋 美和子	60	女	錦町1丁目

補充員

順位	氏名	年齢	性別	住所
1	北川 正	55	男	東5線北16号
2	中澤 恵久子	51	女	南町1丁目
3	奥田 哲也	50	男	中町2丁目
4	添田 ありさ	38	女	本町5丁目

財産取得の件

スクールバス(わかたけ「里仁・江幌・静修線」)1千827万円とラベンダーハイツ介護用ベッド25台861万円の財産取得について、原案可決しました。

介護用ベッドは22年度にも25台更新されており、今回の取得で全てのベッドが更新されました。



新しい議会構成が決定



議長に

西村昭教氏を選出

「副議長に

長谷川德行氏」

町議会議員選挙改選後、初めての議会（第4回臨時会）を8月29日に開催し、正・副議長の選挙や新しい議会の構成を行いました。正・副議長選挙は、議員による投票で行われ、開票の結果、議長に西村昭教氏、副議長に長谷川德行氏が当選し、その後、議席の決定や各常任委員・議会運営委員の選任、監査委員の選任などを行いました。

就任あいさつ

「議会の活性化」

議長 西村 昭教

この度の町議会議員選挙により、14名の議員が決まり、4年間住民の代表として、また、先の臨時会において再度議長としてその職責を担うことになりました。改めてその任を一生懸命取り組む決意であります。議会に対する住民の要望・期待は時代の変革とともに、複雑・多様化し、情報が色々な手段ですぐに伝わる時代の中で、ますますその役割は大きくなってきています。行政が抱える課題解決に向け、議会の権能を充分に発揮し、住民の声や心を行政に反映していかなければなりません。今、議会に求められる住民の期待に応えるためにも、常任委員会の活動や議会と住民の関わりもあり方、議会定数・議員報酬など取り組む課題は多様であります。住民の声を反映し、行政にどう活かしていくのか、議会議員全員とともに考え、知恵を出して期待に応えて行きたいと思えます。町民の皆様の温かいご指導・ご支援をお願い申し上げます。挨拶といたします。

ひとくちメモ

常任委員会

多様化・専門化する行政の事務を合理的かつ能率的に調査・審査することを目的に常設し、議員は総務産建常任委員会・厚生文教常任委員会のどちらかに属することになっていきます。

また、選出方法は、全議員の投票により14人それぞれの議員に対して適任と思われる委員会に投票し、得票数の多い委員会に選出されます。その結果に基づいて、本議会で議長が指名し、属する委員会が決定します。

議会運営委員会

議会の円滑で能率的な運営を図ることなどを目的に、各常任委員会から3名ずつ選出（内1名は委員長）された6名の議員で構成しています。

特別委員会

委員会のうち、必要のある場合や特定のことを審査するために設置される委員会のことであり、本町議会では議会広報特別委員会の設置のほか、必要に応じて予算、決算の特別委員会が設置されます。

総務産建常任委員会



委員長 今村 辰義
副委員長 岡本 康裕
委員 小野 忠
" 村上 和子
" 米沢 義英
" 谷 忠
" 西村 昭教

【所管事項】
総務課、町民生活課の税務班（国民健康保険税に関する事項を除く）・収納対策担当・自治推進班、会計管理者の事務部局、産業振興課、建設水道課、選挙管理委員会、農業委員会、監査委員の事務に関する事

厚生文教常任委員会



委員長 佐川 典子
副委員長 岩崎 治男
委員 金子 益三
" 徳武 良弘
" 中村 有秀
" 一色 美秀
" 長谷川 徳行

【所管事項】
町民生活課の税務班（国民健康保険税に関する事項）・総合窓口班・生活環境班・クリーンセンター・保健福祉課、町立病院、ラベンダーハイツ、教育委員会の事務に関する事

議会運営委員会



委員長 金子 益三
副委員長 村上 和子
委員 佐川 典子
" 米沢 義英
" 中村 有秀
" 今村 辰義

【所管事項】
議会の運営に関する事
議会の条例・規則に関する事
議長との諮問に関する事

議会広報特別委員会



委員長 米沢 義英
副委員長 村上 和子
委員 徳武 良弘
" 岩崎 治男
" 一色 美秀
" 岡本 康裕

【所管事項】
議会広報の編集・発行（年4回）に関する事

上富良野町監査委員



中村 有秀 議員
昭和12年生
任期：4年
平成11年8月25日～現在
上富良野町議会議員

富良野広域連合議会議員



議員 谷 忠
議員 中村 有秀
議員 村上 和子

本町と富良野市、中富良野町、南富良野町、占冠村から3名ずつの議会議員で構成する広域連合議会議員選挙に右記の3名の議員が当選されました。

上富良野町議会議員会



会長 岩崎 治男
副会長 米沢 義英
理事 金子 益三
監事 谷 忠
" 徳武 良弘

議員会は、議員の福利厚生や品性と見識を高めるために調査研究などを行っています。



村上 議員

災害復旧対策は抜本的な

改修が必要では

年次計画性による恒久対策が
必要と認識している

村上議員 台風12号によ

る9月2・3日の大雨の

雨量は230ミリという昭和

56年以来の大雨被害で、

河川も許容量を超え、大

洪水・浸水をもたらした。

改修については、抜本的

な改修が必要であり、護

岸工事は隣町と連携して

対策を取らないといけな

い。今回の災害復旧対策

について、どのような取

り組みを考えているのか。

向山町長

豪雨に伴い農



コルコニウシベツ川

地や道路河川を含めた水
路等230箇所あまりが被害

を受け、全力で復旧にあ
たっている。雨水の流末

となる基幹河川について

は町が管理する部分と、

道が管理する部分があり、

空知川水系として事情を

同じくする中富良野町や

富良野市と協調・連携を

して、土砂上げ等計画的

な管理や改修の促進を要

望したいと考えている。

村上議員 同じ場所が何

回も被害にあっている。

国・道に強く要望し、隣

りの市町村と災害復旧対

策の協議会等を立ち上げ

る考えはないか。また、

来年度から別枠での災害

復旧対策費等の予算づけ

が必要ではないか。

向山町長

北海道の気候

介護報酬の減額で従事者の

処遇が後退しない方策を

町独自で処遇改善を図り、賃金

引き下げは考えていない

村上議員

21年4月介護

従事者の人件費等の見直

しを行ったが、今後、北

海道の介護報酬減額が介

が大きく変化してきてい

るとい認識のもと、恒

久対策を講ずべき所、手

法の改善が必要な所、減

災に向けた対策も必要。

道管理の河川は他町村に

またがり、災害対策は各

首長とも共通認識を持つ

ており、改修の促進を強

く要望したい。災害に備

えた予算については、恒

久対策を年次的に計画性

を持って、当初予算に災

害対策としてではなくイ

ンフラ整備として予算を

立てていく事のほうが望

ましいと考えている。同

じ被害を繰り返さないた

め住民の安心安全がしつ

かり図られる諸対策を取

り進めたい。

図るべきでは。

向山町長

介護報酬が減

額改定される懸念もある

が、今後、国の介護報酬

の人件費部分の引下げが

行われても賃金の引下げ

は考えていない。介護従

事者の多くは臨時職員が

担っており国の動きとは

別に町独自で適時、処遇

生きがいづくりクリエイターの
養成と高齢指導者の研修を
健康づくり自主グループ
活動の支援考えたい

村上議員 健康づくり指

導で3つの自主グループ

があり、それぞれ工夫を

し、指導者も大変な思い

をしている。町として

リーダーの養成・研修な

どの支援が必要と考える

が。

向山町長 自主グループ

の活動については、具体

的な提言、話を聞く機会

があれば社会福祉協議会

と連携を取り、リーダー

養成や予算づけが有効で

あればそういう方法も考

改善を図っている。

村上議員 介護従事者の

臨時職員を正職員にして

いくというのも処遇改善

の一つではないか。

向山町長 臨時職員の

方々に、生きがいを持つ

て働いていただけるよう

に更に処遇改善を重ねて

いく。



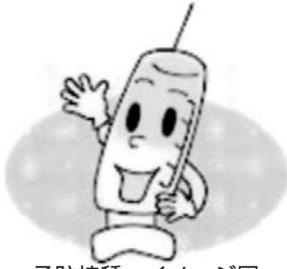
社協で行っているお元気会



今 村 議 員

子宮頸がんワクチンの 国の延長期間の検討を 今後の対策を 見守り対応する

今村議員 国の助成は本年度までであり、来年度も継続するかは未定である。来年3月末までに3回目の接種を終わらせるには、初回を9月末までに接種しなければならぬ。そこで町の、ワクチンの接種の状況と呼びかけは、9月末での初回接種率の予想は、国に対する助成期間の延長要望を、以上について伺う。



予防接種 イメージ図

向山町長

町は、様々

降はワクチン不足のため段階的に接種勧奨を行い、7月中旬に安定供給が図られ、直ちに未接種者に個別案内を行い、9月に再度個別案内を実施した。8月末に75%であったことから、約80%と見込んでいる。現在、国において基金の延長を検討中であることから、町村会等を通じ情報収集を行い、その推移をみて対応する。

今村議員 9月末での初回接種率は約80%であるが、残り20%の未接種の方々への今後の対応は、**向山町長** 理屈ではなく、接種は受けたくないし、受ける気持ちもないという方が潜在的におられるという実態が町にはあるが、しっかりと誠意をもって接種をしていただけけるような、そういう働きを今後も十分に続けていく。

バリアフリー化された 公営住宅の新築を

新築を含め行う必要ありと 認識し計画する

今村議員 少子高齢化が進む中、単身でも車椅子生活が可能でバリアフリー化された公営住宅が今後更に必要となってくる。それは公営住宅においても同様であり、バリアフリーの戸数、障がい者の入居及び待機状況、バリアフリー化が現に不足、また、不足が予想されるのであれば、新築や大規模改修の必要性、以上について伺う。

向山町長 平成5年度以降に整備した富町団地59戸、東町団地40戸、泉町北団地24戸の計123戸がバリアフリーになっており、車椅子での単身生活が可能なのは1階部分で半数となる。障がい者

3名の方が入居している。現在の待機状況は、入居希望者でバリアフリーを求めている方はいない。現在の実態から不足している状況ではないと認識している。今後、バリアフリー化ニーズの把握に努めるが、一方、経過年数のたつた公営住宅をバリアフリー化する予定はないが、今後の公営住宅は、道の指針に基づき建築されるので、必然的にバリアフリー化される。

今村議員 障がい者の方

だけではなく、身体機能の低下した高齢者や子供さんを含めた入居状況の把握が必要では。

向山町長 入居希望者を募る段階で実態を把握し、選考していると理解している。今、非常に不便を感じて待っている方はいないと聞いているが、調査の中で明らかにしたい。

今村議員 バリアフリー化の不足はないとの認識であるが、現在は満室である。新たに障がい者等の入居希望があったらどうするのか。健常者の入居者に行ってもらうわけにはいかないので、早急な公営住宅の新築が必要と考えるがいかがか。

向山町長 現在、住生活基本計画を策定中であり、公営住宅の整備促進は新築を含めて、行っていく必要があると認識している。



バリアフリー化された出入口



一 色 議 員

認知症患者の受け入れ体制は

認知症対応施設は民間で

一色議員 町では認知症

の方が増えてきている。

地元で受け入れる施設は

少なく、家族では抱えき

れない。他町村の民間施

設では経済的負担が多く、

家族や友人と離れてしま

う。地元の施設で、との

要望が多いが町の対策と

計画は、

向山町長

都度、家族と

相談し対応をしているが

町内の施設では限りがあ

り、近隣の施設に入所す

るケースがある。町が設

置する選択肢はないので

民間の施設整備に期待し、
第5期介護保険計画の中
で介護保険料の負担減も



美瑛町の介護健康施設

考慮して整備が図られる
よう取り組む。

一色議員 なぜこれだけ

困っている人や家族がい

るのに受け入れる施設を

つくるうとしないのか。

わが町の介護行政の遅れ

に対する責任は重大であ

る。行政の直営が難しけ

れば社会福祉協議会が母

体となり、住民会・老人

水害の実態と今後の対応は

恒久対策や復旧工事の

改善に取り組む

一色議員 道路・農道・

水路・河川の被害、農

作物の被害は甚大である。

被災状況と町としていか

なる対処をしてきたか、

さらに今後の対応につい

て伺いたい。

向山町長

降雨災害に対

しては恒久対策や復旧工

事方法の改善、さらに減

災対策をあわせて、また、

優先度と財政状況等を勘

案して計画的な取り組み

を進めたい。道と連携し

会・民生委員などの各種
団体の協力により施設の
立ち上げを早急に進めて
いきたい。

向山町長 町民の要望が

多いことも理解している

が、様々なハードルがあ

り、思いだけでは実現し

ない。町として最善の方

策を見出して取り組んで

いきたい。

てより効果的な対策を図

りたい。

伊藤防災担当課長 被害

状況は、道路・河川は町

の管理部分について、用

水路は土地改良区、町が

管理する排水路、農道、

農地は農業者が管理、農

作物は農協と共同調査。

土木施設被害は、河川49

箇所9千790万円、道路123

箇所1億7千610万円、排

水路31箇所3千330万円、

公共災害委託費550万円、

合計203箇所、3億1千280

万円。公共施設は日の出

公園、旧清富小学校グラ

ウンドフェンスなど4箇

所、720万円。農作物被害

258.9 ha 8千808万円、農地被

害、流亡、土砂流入50.5 ha

1千800万円、農道被害9

千240 m 72万円、合計1億

1千380万円。これら被害

総額は4億3千万円にの

ぼる。そのほか町道通行

止め9カ所、住宅床下浸

水17世帯となっている。



清富地区の河川の氾らん状況

商工業者の年末資金の対策を

中小企業総合振興資金と

町独自の既存融資制度で対応

一色議員 東日本大震

災により商店街飲食街の

売上げの大幅減と水害

による農家の収入減によ

り景気が低迷、商工業者

の年末の資金繰りを圧迫

する。町独自の融資制度

による商工業者の資金繰

り対策はあるのか。

向山町長 北海道が実施

している運転・事業・設

備資金の中小企業総合振

興資金制度を商工会を通

して紹介している。町独自

の融資制度も多く利用さ

れている。これらの制度は

一年を通して利用できる

ことから、商工会を通じ

て再度周知し、新たな制

度を設けることは考えて

いない。



米 沢 議 員

集中豪雨による

災害復旧を早急に

早急に災害復旧に努めたい

米沢議員 9月2・3日

の大雨により、河川の氾濫、道路の損壊、土砂の

流出及び家屋の床下浸水など、多くの被害が出ていますが、早急な復旧対策

が必要では。

向山町長 集



集中豪雨で被害を受けた河川

中豪雨により、農地及び農道等に大きな被害を受けた状態にある。農道等に関わる復旧支援については、上富良野町農道整備事業補助金交付規則に基

づき、80万円を限度として事業費の2分の1を補助する。農地の復旧支援については、昨年同様100万円を限度として事業費の2分の1を補助したい。日の出公園からの水

の流出については、排水路の流下能力がないためにおこることが判明しており、当面の復旧工法の見直しと、恒久的な整備計画をつくり、災害に強い町づくりを進めたい。

特別養護老人ホームの

増床と小規模多機能型居宅

介護施設の設置を

小規模多機能型居宅介護施設

整備の具体化に取り組みたい

米沢議員 平成24年度か

ら、新たな介護制度が実施されようとしているが、

事業所を除き、ほとんどの事業所で実施を予定していない状況にある。町

介護保険料の改定額と24

時間の巡回訪問サービ

スの実施及び特別養護老

人ホームの増床と小規模多

機能型居宅介護施設の設

置について伺いたい。

向山町長 介護保険料に

ついては、基金の活用などで、極力圧縮したい。

24時間地域巡回サービス

については、地方におい

ては課題も多く、道内

においては、都市部の一部



ラベンダーハイツ

内における24時間巡回サービスの実施は、訪問介護・看護の夜間・深夜の利用は、現在、夜間介護に1人という状況であり、現段階においては難しい。特別養護老人ホ

ムを増床については、要介護者の推移を見て将来の方向を検討したい。小規模多機能型居宅介護施設の設置は、第5期計画の中で具体化に向けた取り組みを進めたい。

自然エネルギーの

再生可能な自然エネルギーの

積極的な活用を

活用を研究したい

米沢議員 二酸化炭素削

減のためにも、上富良野町としての再生可能な自然エネルギー（雪、水、

太陽熱）などを活用する計画を持つべきでは。

向山町長 地球温暖化対

策については、町において、21年度に地域省エネルギービジョン、22年度に地域新エネルギービ

ジョンを策定し、それに基づき本年度から25年度までの3ヶ年の予定で新エネルギー型の住宅用設備機器の導入に対し助成制度を新設した。残る

2ヶ年の実績を含め最終

その他の質問

Q 原子力発電について

A 原発計画の中止要請については、適切に判断したい。

Q 富良野運動公園駐車場ト

A 改修について検討したい。

第3回臨時会（7月29日開催）

7月14・15日の集中豪雨に伴う

災害復旧費1億2千300万円を追加補正

7月14・15日の集中豪雨被害箇所122箇所に伴う災害復旧費1億2千300万円を追加補正し、総額を63億6千289万3千円とする。専決処分の承認を求める件（平成23年度上富良野町一般会計補正予算（第4号））の専決処分（7月15日付）について、中長期的な計画による根本的な改善などの質疑がされた後、承認可決しました。

財産取得の件

業務用ネットワーク機器 無線LAN送受信装置と基幹スイッチ更新）1千214万9千628円の財産取得について、原案可決しました。

議員派遣結果報告（全道議員研修会ほか）の件

7月5・6日に全議員を派遣した「北海道町村議会議員研修会（札幌市）」及び「先進地行政調査（江別市：太陽光発電施設の稼働状況）」の結果が報告されました。

専決処分報告の件（上富良野町税条例等の一部を改正する条例）

「現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための地方税法等の一部を改正する法律案」が6月30日に国会で成立されたことに伴い、政策税制の拡充、税負担軽減措置等の関係条文を改正する一部改正条例の専決処分（6月30日付）が報告説明されました。

第4回臨時会（8月29日開催）

8月14日執行の町議会議員選挙後、第4回臨時会（初議会）を開催し、議長・副議長・富良野広域連合議会議員の選挙、常任委員・議会運営委員の選任を行いました。（結果は6頁の議会構成のとおり）

また、町長から提出された監査委員の選任の件を同意可決、専決処分の承認を求める件（一般会計補正予算（第5号））を承認可決しました。また、議会広報特別委員会設置に関する決議の動議が出され原案可決し、同特別委員会を設置しました。

8月14・15日の大雨に伴う災害復旧費など1千960万3千円を追加補正

8月14・15日の大雨（被害箇所45箇所）に伴う災害復旧費1千865万円、子どもセンター北側上部外壁からの雨漏りに伴う工事請負費127万1千円など、1千960万3千円を追加補正し、総額を6億8千249万6千円とする。専決処分の承認を求める件（平成23年度上富良野町一般会計補正予算（第5号））の専決処分（8月15日付）を承認可決しました。



議会報告会を開催します

議会や町政に対する
ご意見をお聞かせください

～開催日程（予定）～

開催日時 11月29日（火）
午前・午後・夜間
開催会場 日東会館・東中会館・島津会館
江花会館・かみん・セントラルプラザ



本町議会は、自治基本条例に基づき、町民の皆さんとの対話の機会を設けて、皆さんの意向を把握するとともに、議会と町政に関する情報の提供を行うため、議会議員が2班に分かれて、6つの会場で議会報告会を開催します。

詳しい日程は後日お知らせします

議会の“窓”

富良野沿線市町村議会議員研修会・町内行政調査

富良野沿線市町村議会議員研修会に参加

10月3日に中富良野町で開催された議員研修会に参加し、上富良野駐屯地司令の叶謙二氏から「東日本大震災における自衛隊の支援活動等について」の講演と、富良野広域連合消防本部消防長の原一志氏、井山警防係長から「東日本大震災における消防の支援活動について」の講演を聴講しました。



町内行政調査を実施

第3回定例会において議員発議により可決した「町内行政調査」を10月6日に実施し、子どもセンターの外壁・ブレイルーム・個別指導室空調設備の改修工事、町立病院医師住宅の新築工事及び7月から9月の大雨による公共施設・農業施設の被災箇所のうち20箇所において担当課長から概要説明を受け現地調査をしました。



議会の動き

【7月】

29日 全員協議会

【8月】

17日 名寄市議会（会派）
市民連合・凜風会視察来町

18日 福岡県八女市議会
厚生常任委員会視察来町

25日 新人議員研修会

26日 議員協議会

29日 第4回臨時会（初議会）
全員協議会

総務産建常任委員会
厚生文教常任委員会
議会運営委員会
議会広報特別委員会

【9月】

7日 秋田県議会
福祉環境委員会視察来町

8日 議会運営委員会

15日 厚生文教常任委員会

16日 総務産建常任委員会

20日 議会運営委員会

21日 全員協議会

27日 議会広報特別委員会

28日 第3回定例会（1日目）
第3回定例会（2日目）

【10月】

3日 富良野沿線
市町村議会議員研修会

4日 厚生文教常任委員会
山梨県山梨市議会（会派）
市民の会視察来町

13日 議会広報特別委員会

18日 決算特別委員会（1日目）
決算特別委員会（2日目）
決算特別委員会（3日目）

やまびこ

震災や台風と気の休まる時がありません。被災に遭いながらも、新たな歩みを始めている人達の姿に健気さを感じる日々です。

気がつくともう10月です。大雪山には初冠雪の便りも聞こえ、山々がほんのり黄色から赤へと変わり始め、畑や田んぼでは、農家の人達が丹精込めて育てた稲やジャガイモなどの作物の収穫作業に追われる姿は、深まりゆく秋と時の流れを感じさせられずにはいけません。

8月に町議会議員選挙が行われ、議会広報特別委員会も新しいメンバーで議会だよりを編集・発行することになりました。多くの読者の皆さんに議会での出来事を分かりやすくお届けできるように紙面づくりのために、これからも努力してまいります。



- （米沢 記）
- 委員長 米沢 義英
 - 副委員長 村上 和子
 - 委員 徳武 良弘
 - 岩崎 治男
 - 一色 美秀
 - 岡本 康裕

議会の様子を見にきてください！ 次回は12月中旬頃の予定です。

発行/上富良野町議会 印刷/尚上富印刷
〒071-0596 北海道空知郡上富良野町大町二二二
☎(017)496992 既017-4955361
http://www.town.kamifurano.hokkaido.